

Interview



コーディネーター兼
サポーター
小野 清士さん
(中家村)

民生委員や自治会の福祉部長の活動経験を生かしたいとの思いから、サポーターになりました。

私も将来、利用者になるかもしれませんが、お互い様と思って活動していますが、利用者から「ありがとう。」と言われると、やはり嬉しいですね。



利用者
佐野 文枝さん
(中家村)

腰の負担になっていたごみ捨てを、2週間に1回のペースでサポーターさんをお願いしています。

ごみ捨てをお手伝いいただけて助かっていますが、それだけではなく、小野さんとのちょっとしたおしゃべりも楽しみにしています。

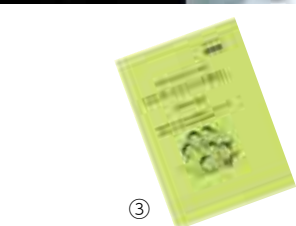
おたがいさまネット中家村 利用案内

○**利用できる人**
中家村地区在住で、本人及び家族が高齢又は身体が不自由、病气、出産、育児などの様々な理由により日常生活が不安な方

○**利用内容**
買い物、ごみ捨て、掃除、話し相手、外出の付き添い等

○**利用料金**
100円～
※詳細はお問い合わせください

○**問合せ先**
(社福)開成町社会福祉協議会
☎82-5222



①サポーターの活動(ごみ捨てのお手伝い)②作業中のちょっとした会話が弾む③小川さんらが作成し、中家村地区に全戸配布したパンフレット④サポーター研修で先駆的な活動をしている平塚市を訪問



特集 町民が主役のまちづくり

あなたの「一歩」で まちを元気に

地域の中で、「こんな手助けがあるといいのにな」「私だったらこんなことができそうだな」と感じることはありませんか。町には、こうした想いを胸に、自ら「主役」となって行動を起こしている方々がいます。今月はそんな「町民が主役」のまちづくりについて特集します。

自治活動応援課 ☎84-0315

case 1

おたがいさまネット中家村

中家村地区に暮らす住民同士の「支えあい」の組織である「おたがいさまネット中家村」を立ち上げた小川さんにお話を伺いました。



おたがいさまネット中家村会長
小川 周作さん

おたがいさまネット中家村
地域で暮らす高齢者の中には、買い物やごみ捨て、家具の移動といった何気ない日常の場面の中で「ちょっと手助けが欲しいな」と感じている方が多くいらっしやいます。こうした「日常のちょっとした困りごと」を、地域の身近な方々のお互いの意識で、見守ったり、支えあったりすることを目的に活動しています。

「町主催のセミナーに参加し、地域でこれから一人暮らしの高齢者がますます増えていくという話を聞いたことが、地域で支えあう仕組みづくりをしたいと感じるようになったきっかけでした。」
仕組み
おたがいさまネット中家村は、「コーディネーター」が利用希望者からの利用申込みを受け付け、あらかじめ登録している「サポーター」が利用者のご自宅などを訪問し、必要な支援を行うという仕組みです。(P3下図参照) 自治会加入の有無に関わらず、誰でも利用できます。

皆で手を取り合って
活動を始めて1年が経過し、徐々に利用件数も増えてきています。初めて利用される方ももちろん、最近ではリピーターの方も増えてきました。また、今のところは日常生活に困っていないという方でも、「いざというときに頼れる地域の方がいる。」との嬉しい声もいただいています。

地域住民の心の支えに

町社会福祉協議会は、「おたがいさまで支えあう『まちづくり』をめざして」というスローガンを掲げ、住民主体で取り組む地域での支えあい活動のお手伝い(生活支援体制整備事業)をしています。

地域の中にこうした支えあいの活動があることは、そこに暮らす人の安心感に繋がり、心の支えになっていると強く感じています。こうしたお互い様の気持ちが町全体に広がっていくよう、今後も様々な活動を支援していきたいと思っています。

「生活支援体制整備事業」については、町社協HPをご覧ください▼



開成町社会福祉協議会
高橋 政幸事務局長

